

## 会 議 録

会議の名称	平成25年度第7回行田市市民公益活動推進委員会
開催日時	平成26年3月17日（月） 開会：午後1時35分          閉会：午後2時45分
開催場所	行田市役所 3階305会議室
出席者氏名	串田隆義委員、園田佳代子委員、織田和美委員、鈴木孝佳委員、 今村武蔵委員、中村博行委員、村澤洋委員、齋藤貴美子委員、 稲葉誠一委員、野本翔平委員、松井秀二郎委員、田尻要委員、 矢本政子委員、加藤修委員、栗本広宣委員
欠席者氏名	金原二郎委員、関川忠彦委員、長谷川龍委員、浅見知正委員、 矢部正オブザーバー、阿部オブザーバー、木村オブザーバー
事務局	門倉課長、吉田主査、秋田主事
会議内容	司会 吉田主査 1 開会 2 委員長挨拶 3 議題 (1)行田市市民公益活動推進委員会の別名（愛称）について (2)平成26年度の行田市市民活動やる気応援助成金について (3)平成25年度の振り返り及び今後の目標の共有について (4)その他 4 閉会
会議資料	(資料1)行田市市民公益活動推進委員会 愛称(案) (資料2)平成26年度行田市市民活動やる気応援助成金募集要項 (資料3)「行田市市民公益活動推進委員会」及び「(仮称)行田市市民公益活動推進基本計画」の今後について (資料4)(仮称)行田市市民公益活動推進基本計画 作業シート
その他必要事項	

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会	1 開会
委員 長	2 委員長挨拶
司 会	3 議題
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員長に議事の進行をお願いする。</li> <li>・議事に入る。</li> </ul>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議題（１）「行田市市民公益活動推進委員会の別名(愛称)について」事務局より説明をお願いする。</li> </ul>
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回会議で各グループより出された愛称（案）について資料１にまとめた。多くの中から委員会や公益活動の目的を分かりやすく伝えられるものとして、事務局と委員長で案を絞らせていただいた。</li> </ul>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>①行田市やる気ネットワーク（GYN）</li> <li>②市民しあわせ活動委員会</li> </ul>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局から説明のあった案について、意見等はあるか。</li> </ul>
議 長	—特になし—
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見等がないようなので、２点から多数決をとりたいと思う。「行田市やる気ネットワーク（GYN）」が良いと思う委員は挙手をお願いする。</li> </ul>
議 長	—挙手—
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・続いて、「行田市しあわせ活動委員会」が良いと思う委員は挙手をお願いする。</li> </ul>
議 長	—挙手—
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より、集計結果の発表をお願いする。</li> </ul>
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「行田市やる気ネットワーク（GYN）」 9 票</li> <li>「市民しあわせ活動委員会」 5 票</li> </ul>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多数決の結果、「行田市やる気ネットワーク（GYN）」に決定してよいか。</li> </ul>
議 長	—異議なし（拍手）—
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は「行田市やる気ネットワーク（GYN）」が市民や市民公益活動団体に広く認知されるよう、活動をお願いする。</li> </ul>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・続いて、議題（２）「平成２６年度行田市市民活動やる気応援助成金募集要項」について事務局より説明をお願いする。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行田市市民活動やる気応援成金について、平成26年度からの変更点について説明する。平成25年度は「新たな取組応援事業」は助成率10分の9で上限10万円、「スタート応援事業」は助成率10分の9で上限5万円となっていたが、平成26年度は助成率とともに2分の1とさせていただく。これは助成金利用団体が事業実施後も継続的に活動していく上で、自らもある程度負担する必要があると考えたからである。なお、上限率は変更なしである。</li> <li>募集については、市報5月号やホームページで周知する予定である。また、市内のNPO法人及び市民公益活動登録団体には直接案内を送るが、各委員にも知り合いの団体等に周知をお願いしたい。</li> <li>受付期間は、6月1日が日曜日であるため6月2日から翌年の1月31日となる。</li> <li>なお、評価点については、事業内容や事業提案により団体のスキルを上げていただきたいことから、今回は据え置きとさせていただく。</li> </ul>
議長 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何か意見等はあるか。</li> <li>・助成金交付の決定時期はいつになるか。多くの書類の提出が必要であるにも関わらず、助成率2分の1で10万円を上限とする助成金は団体として魅力を感じないと思うがいかがか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案された時点でこの委員会にて審査し、その後交付決定を出すので随時となる。今年度は2件の提案があったが、いずれも不採択になっている。また、助成率は他の助成制度も2分の1としていることが多い点、利用団体に負担をお願いしたい点などから2分の1とさせていただきたい。書類については、申請団体のやる気を見させていきたいので、ご理解いただきたい。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度2件の申請が不採択になっている点については、審査をしている我々にも責任がある。審査基準が明確になっておらず、委員によって差が出てしまった。多くの団体に助成制度を利用していただき、制度の必要性をアピールしていくことも必要である。また、書類の作成については、団体が活動をしていく上で必要である。書式が分かりにくい部分があれば変更を検討するが、書き方等については我々が指導、助言していく必要がある。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我々の審査で不採択となっている事実はあるが、申請団体の1つで</li> </ul>

	<p>ある、史跡めぐりの冊子は内容が良かった。数点の差で不採択となってしまうというのは非常に残念である。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・審査の点数を8割以上取らなければ採択とされない点は見直すべきではないか。また、助成率10分の9というのは非常に魅力的であったが、急に2分の1に下げるのではなく3分の2にするとか交渉の余地はないのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度については交渉の余地はないと考えていただきたい。来年度以降については引き続き助成額の増額や見直しを含めて検討していく。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな取組応援事業は、既存の団体が対象のように見えるが、これから団体をつくる場合は対象にならないのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10人以上という規定を含め基準を満たしていれば可能である。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我々の団体でも今年度の申請を検討したが、新たな取組みというのがイメージしにくく断念してしまった。来年度は工夫していかなければならない。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度も助成がないとその後の予算がつかなくなってしまうかもしれない。不足点などがあればアドバイスすると聞いていたが、修正して同じ内容で翌年度に改めて申請することはできないのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価が低かった点については、通知の中に記載している。不採択になった団体が全く同じ内容で申請するのはできないが、少し工夫を加えて新規性を持たせた内容で改めて申請していただくことは可能である。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の財政も厳しい中で総額50万という助成額なのだと思う。しかし、協働を推進したいと言われている中で、50万の助成とは余りに少ないものではないか。団体としても10万という助成額は魅力的ではないので、来年度も申請は少ないのではないか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員ご指摘のとおり、協働、公益活動という言葉のわりに予算額が少ないと思う。平成27年度は増額確保のため努力していく。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実績を出して50万では足りないということをアピールしていく必要がある。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・去年の相談件数は何件であったか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市報に掲載した直後は相談が多く、件数は7～8件あった。団体に</li> </ul>

委員	<p>改めて通知を出したこともあり、年度末になっても2～3件の相談があったが提案が間に合わない団体がほとんどであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成金は有効に活用する必要があるが、自主財源で活動する、新たに活動を始めたいという機運を持ち上げていくことも必要である。活動を始めたい個人からの相談はあったか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人からの相談もあり、助成金や現在活動している団体の紹介をしたが、実際に活動を始めたという情報は入ってきていない。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サポートセンター（以下、サポセン）など常設の相談窓口がない以上、地域づくり支援課がその役割を担うようになると思われる。問合せのあった個人や団体に、その後の状況などを確認すれば活動する人が増えるかもしれない。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問合せのあった団体に定期的に連絡を取ることはしていないが、みずしろフェスタなどのイベントなど提供可能な情報は通知している。定期的な連絡については今後検討する。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO法人にも助成制度だけではない様々な案内が届いている。事務局は多くの情報を入手できるので、役立つ情報はこれまでよりも積極的に団体へ提供すべきである。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国や県の助成制度などの情報も入るので、来年度は更に多くの情報を団体へ提供させていただきたいと考える。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員も情報を入手しやすい立場にある。事務局が提供できない場合でも、我々委員が身近な人や団体に情報提供していけば良い。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員も勉強をする必要がある。来年度は部会のような形でグループを作って勉強会を行い、委員が必要な情報を提供できるような工夫が必要ではないか。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても貴重な意見をいただいた。来年度の委員会の進め方にも関連するので議題（3）「平成25年の振り返り及び今後の目標について」に進ませさせていただく。事務局から説明をお願いします。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度基本計画策定作業の中で、中間支援組織やサポセンが必要という意見が多く出された。そこで、委員会及び計画の方向性をサポセン設置及び中間支援組織による支援という視点でまとめたのが資料3である。目的に列挙しているのがこの委員会及びサポセンの役割であり、下の図はそれを図式化したものである。サポセン等の中</li> </ul>

	<p>間支援組織がより多角的に市民や市民団体を始めとした市民活動を支援できるものとなっている。今後はこのイメージを念頭において委員会活動や計画策定作業を進めていただきたい。</p> <p>次に、基本計画の策定作業は、今年度支援策の検討まで進んだ。来年度は実施方法と目標について取り組んでいただく予定である。</p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何か意見等はあるか。来年度は資料3の図を意識しながら策定作業に当たっていただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点としての場所やネットワークづくりは計画と平行して進めていかなければならない。来年度後半はみずしろが使いなくなるし、市中心部から遠い施設もある。また、みずしろフェスタも団体を応援する場として重要である。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員ご指摘のとおりである。他に反省点などあるか。</li> </ul> <p>—特になし—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは、議題(4)「その他」について、事務局から何かあるか。</li> </ul> <p>—特になし—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員から何かあるか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・65周年記念の市民提案は、委員会では何かやらないのか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画政策課で行っている地域活性化推進委員会で7団体から提案があった。しかし、65周年記念事業は単発のものが多く、市民公益活動のように継続性のある事業は少ないように思われる。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我々の委員会としては、それら事業をよく見て、単発で終わらないように支援していくことが必要である。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社協に災害ボランティア登録制度ができて、登録者を募集している。委員の団体にも協力していただけるとありがたい。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他に何かあるか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市に登録している市民公益活動団体の施設利用に関して、中央公民館では利用料免除の措置を取っていただいているが、市民公益活動を推進する地域づくり支援課所管のVIVAぎょうだが3割減免になっている。それぞれの規定に基づいて減免の措置をしていただいているのは分かるが、委員の皆さんはこれを変えていくべきだと思われるか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの規定のとおりに減免していただければよいのではないか。</li> </ul>

<p>委 員</p>	<p>団体が利用場所を選べばよいと思う。</p>
<p>事 務 局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域づくり支援課は市民公益活動を応援する課ではないか。公民館の方が使用料が安いのは違和感がある。</li> </ul>
<p>委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・V I V Aぎょうだは地域づくり支援課の所管ではあるが、男女共同参画の推進のために建てられた施設であり、目的外利用となることから規定に従って減免させていただいている。公民館に依頼をしたところ、規定上免除になったということである。</li> </ul>
<p>委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的外利用は分かるが、その規定に従うことを委員がどう考えるかということではないか。</li> </ul>
<p>事 務 局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画の推進のための施設ということで、当初は助成のための就職支援などの拠点になることも考えた。目的が不明瞭になり、公民館事業との区別が付かないことが問題ではないか。</li> </ul>
<p>議 長 司 会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例規を詳細に見た上で検討したい。</li> <li>・他に何かあるか。なければ、以上で議長の職を解かせていただく。</li> <li>・今年度最後の委員会となるので、地域づくり支援課長より一言ご挨拶を申し上げる。</li> </ul>
<p>課 長</p>	<p>—挨拶—</p>
<p>司 会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以上で第7回行田市市民公益活動推進委員会を終了とする。</li> </ul>